

## 焼津市DX推進計画（案）へのパブリックコメント（ご意見とご意見に対する回答）

No.	年代	ご意見	ご意見に対する回答	計画修正の有無
1	70代以上	<p>焼津市DX推進計画(案)を全て拝見しました。大変お疲れ様でした。策定趣旨は時代の要請であり十分理解出来ます。焼津市の現状と課題を見ますと、市内事業所でさえもIT化に慎重姿勢が窺え、過大に期待することには少し不安を感じます。出来る分野から着実に推進して行き、中長期的な展望から各政策ごとの目標を達成出来るよう、取り組む方向性は今の段階では的確に把握しているのではないかと考えられます。</p> <p>子育て・教育については、既にGIGAスクール端末の活用で進行しつつありますが、子供達の可能性は無限でITリテラシーの向上も意外と早く、プログラミング等の創造性向上も期待できるかもしれません。</p> <p>各政策ごとの進捗により、今後の目標設定変更の必要もあろうかと思えます。市と市民の架け橋は最も身近な各自治会組織ですので、各地域にはそれなりにDX推進への適任者もいらっしゃるかと推察され、欠かせない存在です。今後3年間で予定しているコミュニティスクールもDX推進媒体に十分なり得ると考えます。何事も性急に進めると、反発や抵抗感や格差も生みかねない要因になってしまいます。快適で便利の中にもプライバシーへの侵害やデマ・誹謗・中傷の拡大等々、リスクもまた表裏一体のものがありますので、ウーダループの補完機能も十分活かして行って欲しいと思います。SDGsの誰も取り残さない社会の実現が究極の目的の寄り添う視点を是非お願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より暮らしやすい地域社会を構築していくためには、地場産業の付加価値の創出や市内事業所の生産性の向上は重要な要素であり、これらの推進にデジタル技術は欠かせないものとなっております。こうした方向性を市内の事業所に認識していただき、新しい取り組みに果敢にチャレンジできる環境を構築してまいります。</li> <li>・子ども達への教育環境も今後は、劇的に変化していくと考えており、GIGAスクールにより整備した一人一台端末を用いた教育のさらなる推進など、ICT環境の充実をハード、ソフトともに進めてまいります。</li> <li>・コミュニティスクールなど、地域のDX推進へ向けた「地域デジタルステーション（仮称）」の整備を進めることとしており、ICTサポーターの設置などの地域で支援できる仕組みを構築してまいります。</li> <li>・「3-4 取り組みの視点」として「セキュリティ」を掲げており、システム面でのセキュリティはもちろんのこと、取り扱う人のITリテラシー向上も必要と考えております。</li> <li>・SDGsの誰も取り残さない社会の実現へ向け、「3-4 取り組みの視点」として掲げております。</li> </ul>	無
2	40代	<p>将来に向けた取り組みで、P31にある、「より質の高い市民サービスの提供」「自治体運営の効率化」に関しては、自治体が主導となり予算をつけて事業を進めれば済む話だが、「地域の活性化」については自治体と民間組織の協力、連携が必要不可欠である。</p> <p>「より質の高い市民サービスの提供」「自治体運営の効率化」については、昨今のデジタル化社会の中で自治体として推進するのは当然であり、焼津市DX推進計画と銘打つまでもなく取り組むべき課題である。</p> <p>それに対して、「地域の活性化」をSociety5.0のような発想で進めることは、確かにチャレンジングな試みであり、本来はDX推進計画の中心部分となるべきである。しかしながら、例えば産業・観光振興など、焼津の中心市街地の商店や中小の水産業者などと連携を図る場合、当然ながらデジタル化へのコスト負担や人材不足、費用対効果の観点から民間組織が積極的に参加しづらいことが十分に予想される。それに対して、行政サイドの取組みが単に「人材育成の支援」等の記載にとどまっており、DX推進によってどのような効果が生まれることを狙っており、それに対してどのように行政が連携、支援を行うのかが計画からは見えてこない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画では、P31に記載のとおり「地域の活性化」は「基本的な方向性」として3つの柱の1つに定めており、ご意見のとおり、行政だけでなく民間事業所や団体などとの協力、連携により取り組むこととしております。</li> <li>・また、P36のリーディングプロジェクトの1つとして、行政・民間等の持つ、様々なオープンデータやビッグデータを集積・活用し、地域の活性化に向けたDXの推進による課題解決を進めることができる連携組織を構築することとしております。</li> <li>・リーディングプロジェクトでは、DXの推進に向け、データの収集・分析のほか、成功事例を地域で共有することで、産業・観光だけでなく、分野横断的に課題が解決できる組織を構築することとしております。</li> <li>・これを進めるにあたり、地域や事業所内の人材の確保や育成・支援は、重要であることから、市として人材育成への支援に取り組むこととしております。</li> <li>・なお、リーディングプロジェクトにより、イノベーション等による新たな産業創出など、各分野での地域課題の解決を図ることができ、将来にわたる持続可能な地域社会の構築につながるものと考えております。</li> </ul>	無

## 焼津市DX推進計画（案）へのパブリックコメント（ご意見とご意見に対する回答）

No.	年代	ご意見	ご意見に対する回答	計画修正の有無
3	60代	<p>全体的に「デジタル化」に主を置いた計画であると認識しました。本当に重要な部分2点が欠落しているのではないかと思います。</p> <p>○1点目 2018年7月6日付の「デジタル・ガバメントに関する国際動向について」をご覧くださいとよく理解できると思いますので、一読をお願いします。</p> <p>○2点目 データをつなげるという視点で考えなければならない点は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用できる文字種及びコードが省庁によって異なるため、正しい字種や字形を交換できない。</li> <li>・部門によって表現がバラバラであるため、データは単なる文字や数字の格納にすぎない。コンピュータを活用して、特定の目的に役立つ情報を生むことはできない。 (例) 単位やフォーマットが揃っていないため、誤った情報が伝わる</li> <li>・データをつなげるために必要な3条件（コード、表記、語彙）を整えるべき。</li> </ul> <p>参考となる資料「IMIで「つながるデータ」とは何かを知ろう！」</p>	<p>・ご意見のとおり、行政や民間の持つ様々なデータをつなげていくことで、今まで見えてこなかった新たな課題が見えてくるものと考えており、こうした官民データをつなげる連携組織の構築をリーディングプロジェクトとして進めてまいります。</p> <p>・既存のデータはそれぞれ独立したコードとなっていることから、まずは、これらのデータをつなげるためのルールづくりが必要であると考えております。</p> <p>・具体的なルールづくりについては、国においても検討していることから、国の動向を踏まえ、今後検討を進めてまいります。</p>	無
4	50代	<p>P. 24 (2) 「若年層は、市のホームページの利用もなく・・・」との記載があるが、P.17のアンケート結果からは、利用している状況が確認されるため、表現を変更した方が良い。(例：利用頻度が少なく・・・、など) また、「若年層」という表現が、第2章2-2では「若い世代」、「若い年代」と表現されているため、統一した方が良い。</p> <p>P. 24 (3) 「市民の皆様のITリテラシーの向上が必要・・・」との記載があるが、この文面取りに解釈すると、市民全体の底上げが必要と受け止められるが、その解釈で良いか。(≒高齢者やデジタル機器に不慣れな方に向けた文面ではないか) もしくは、P.22のアンケート結果から、デジタル化に対する不安解消のための文言であるならば、その趣旨を盛込んだ方が良い。</p> <p>P. 29 「現役世代の本市への定着・・・」で用いられている“現役世代”とは、具体的にどの年代を想定しているのか。特に近年、定年延長や再雇用の動きも盛んであるため、この言葉ではイメージの共有が難しいのでは？</p> <p>P. 30 「目指す姿（ビジョン）」について、キャッチフレーズが示されているが、市民の生活がどう変化していくのかを具体的にイメージできるような記述や数値目標が必要ではないか？</p> <p>P. 38～ 「随時拡充」という記載が多く用いられているが、年度ごとの進捗目標や中間目標、具体的な取組みなど、政策の展開をイメージできるような記述の方が良い。</p> <p>P. 43 具体的な取り組み 3項目 市役所内部のデジタル人材の育成・採用の検討について、どのような技術を持つ人材を想定しているのか。また、人材確保の具体策は。</p>	<p>・P24(2)の表現について、ご意見を踏まえ、文章表現の修正をいたします。また、関連してP15,P16の表現についても修正いたします。</p> <p>・P24(3)の表現について、ご意見を踏まえ、文章表現の修正をいたします。</p> <p>・P29 地域事業所のデジタル化の推進は、現役世代のみならず、副業人材の活用や定年退職後の働き方など、様々な年代の新しい働き方を推進することになると考えております。ご意見を踏まえ、文章表現の修正をいたします。</p> <p>・P30のビジョンは、DXを進める上での最終的な目指す姿を記載しております。なお、数値目標を含む具体的な事業レベルの目標設定につきましては、総合計画における事務事業マネジメントシートで別途定め、進捗管理を行ってまいります。</p> <p>・P38～「随時拡充」の表現に関しては、国の電子化の動きと連動していく部分であり、マイナンバーカードを用いた国の「びったりサービス」を中心に電子化を進める部分となります。国ではR4年度末までに子育て・介護などの26の手続きを電子化することとしておりますが、その先については国の動向を踏まえながら進めていくことから、随時拡充の表現としております。</p> <p>・P43 デジタル人材の育成・採用については、今後、具体的な検討を進めてまいります。なお、人材確保につきましては、IT知識のある方の社会人枠での採用や、国の人材派遣制度等による民間企業からの派遣などを活用してまいります。</p>	一部修正あり

## 焼津市DX推進計画（案）へのパブリックコメント（ご意見とご意見に対する回答）

No.	年代	ご意見	ご意見に対する回答	計画修正の有無
5	60代	AIチャットボットを利用しています。かなり便利だと思いますがもっとPRした方がいいと思います。焼津市は公共交通機関が不便なのでデジタル化により出かけなくても受けられるサービスが増える方向で計画策定をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIチャットボットのご利用ありがとうございます。「やいちゃんのAI総合案内」につきましては、LINEの市政情報配信機能と合わせ利用できる仕組みを構築しており、利用状況や問い合わせ内容なども分析・検証しながら利便性を高める運用を行っております。今後も利便性向上と合わせ、より一層のPRに努めてまいります。</li> <li>・P35のリーディングプロジェクトでお示したように、より質の高い行政サービスの提供に向け、「書かない市役所」「行かない市役所」の実現に取り組んでまいります。</li> </ul>	無
6	20代	<p>デジタル化が必須な世の中で「誰一人取り残さない」のスローガンはとても良いが、実際には情弱な層は一定数居り、そのサポート面をどう捉えていくかが鍵となりそうである。豊かな生活のために行った事が、ある面からは不自由だと思われてしまうことを軽減させる方向性を見つけたい。今回のような、web上でわかりやすい説明動画を設けることや、公募で意見を求めることも今後必要不可欠な媒体形式になると思った。</p> <p>どうしても抗えない少子高齢化について、若者を地域に戻すことで補うのではなく、それぞれデジタル化を有効活用し、県外にいても地元である焼津を応援できる新しい形を考えていきたい。都会に魅力を感じ、移住してしまうことや職に就いてしまうことは仕方の無いことである。都会で流れている企業を焼津に誘致したところで、都会だからこそ成り立つものもあれば、焼津には合わないものもある。だから、会社や大学を増やすような物理的に時間や予算もかかり、結局意味のないようなことをするよりは、ネット上で誰もが簡単に携帯ひとつでできるような仕組みがあったらと感じる。</p> <p>課題の解決へ向かうのは大切なことだが、解決方法というのはその課題を潰すことだけではなく、新たな方面から受け入れてうまく付き合ったり、かわしたりすることが必要なのではないだろうか。</p> <p>また、デジタル化したからといって、全員がチェックしてくれるようになる訳ではないため、きちんと興味を持ってもらう工夫や、自分ごととして関心を高めてアクセスしてもらう仕組みも必要だと感じた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化を推し進めることと併せて、デジタル化へ移行できない方も一定数いることがアンケート結果からも把握できております。こうした方々に対しては、P31に記載のとおり、現状では、デジタル化による効率化・省力化の恩恵を、非デジタルによる丁寧な支援に充てることとし、誰も取り残さない仕組みを構築していく方向で取り組みを進めてまいります。</li> <li>・本市以外の地域にお住まいの方で、本市にゆかりのある方や本市を応援していただける方など「関係人口」の拡大に向けて、「焼津未来創生総合戦略」でも重要な施策として位置付け、取り組みを推進しております。こうした取組にデジタル技術を活用し、さらなる関係人口の拡充に努めてまいります。</li> <li>・行政の情報発信や、本市の魅力ある情報の発信について、ターゲットに合った情報発信を行うため、P43に記載したとおり2025年度までに「情報発信媒体の整理」と「ターゲットに合わせた情報配信」に向け、取り組んでまいります。</li> </ul>	無

## 焼津市DX推進計画（案）へのパブリックコメント（ご意見とご意見に対する回答）

No.	年代	ご意見	ご意見に対する回答	計画修正の有無
7	40代	<p>計画案を拝見いたしました。核となる内容は案の内容で構わないのではないかと考えております。</p> <p>1点、意見を申し上げます。スライド33枚目の「誰も取り残さない視点で取り組」んでいくことをどのように実現するか、ということに関わって、計画で挙げられた6分野につきデジタル化を推進する部分に加えて、残す部分についても触れるか、もしくは進めていく際のサポートに関わるやや具体的な内容についても触れていいのではないかと考えました。本計画はDX推進計画(案)であるため、現在の内容を核にすることで問題はないかと思いますが、これまで私が行ってきた聞き取り調査や、デジタル化に関わって展開されている地方行財政の分野での議論を見ると、デジタル化の対象となっている窓口業務の場面で、手続きのやり取りを通じてその市民が置かれている状況が把握でき、別部署での手続きが必要になることなどの案内ができることなどが指摘されたり、高齢者を中心にデジタル化についていけない懸念が示されています。高齢者も時間の経過とともにスマホ所有率を高めてきているので、行政サービスの各所でデジタル化を進めていくことが必要となっていることが一方、「対人社会サービス」の典型例である行政サービスについて、どこまでどの程度これを進めていくかということについて、その時々で進捗状況を管理、見直ししながら、慎重に検討する機会を持つことも必要になるのではないかと考えました。</p> <p>今般のパンデミックを通じて、それまでに取り組まれてきたデジタル化の進展の中で生じてきた格差があったことや、個々の人々が置かれている社会的状況によってデジタル機器の利活用のあり方に差があることが示されたかと考えております。「誰も取り残さない」ことを実現するまでには時間がかかると考えますが、デジタル化の局面でも是非目指してほしいと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化による利便性向上と併せて、デジタル化へ移行できない方への非デジタルによる丁寧な支援も進めていくこととしております。また、P40に記載の「地域のデジタルステーション（仮称）」の整備を進めていくことにより、電子申請などの手続きや、スマホなどのデジタル機器の操作などを、地域で教え合い、支え合う仕組みを構築し、誰も取り残さない視点で取り組みを進めてまいります。</li> <li>・P35のリーディングプロジェクトである「デジタルガバメントの構築」を進め、24時間365日いつでも、どこでも手続きができるような行政サービスを提供してまいります。なお、取り組みの視点として、まずやってみる「チャレンジ」思考と、利用者の目線で行政サービスを見直していく「サービスデザイン」思考など、5つの視点により柔軟かつ機動的に進めてまいります。</li> </ul>	無
8	30代	<p>これまでの焼津市のIT、DXの取組の中ではLINEの「AIチャットボット」の「子育てについて」の検索機能を利用したことがあります。選択しを選択していくことで必要な情報をスムーズにスマホでその場で取得でき、利用しやすい機能であると感じました。</p> <p>行政の手続き面では電子申請や印鑑不要の様式が増えることで効率化に繋がっていると感じました。</p> <p>現在の事業所のデジタル化、DX化への課題としては、ECサイトやHP等のIT技術を導入している企業が増加している反面、納品管理や、工程管理や大きな変革となるDX化ツール等の高度なツールを導入している企業は多くないと感じているため、「DXとはどういうことなのか」等の事業所に向けた啓蒙活動や、焼津市独自のDXに関する補助金支援を実施していただけると、補助金をきっかけとして、地域企業へ案内できればと考えております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIチャットボットも含め、いつでも、どこでも行政サービスや行政情報が取得できる、利便性の高い仕組みを構築してまいります。</li> <li>・市ホームページなどで申請書などがダウンロードできるようにしておりますが、申請そのものをインターネット上でできる仕組みである「電子申請」の導入について、進めてまいります。</li> <li>・事業所のDXへの取り組みについては、全国での成功事例や、新たなデジタル技術の紹介などのほか、デジタル技術を活用できる人材を確保・育成することが重要であり、こうした支援策などを進めてまいります。</li> </ul>	無

## 焼津市DX推進計画（案）へのパブリックコメント（ご意見とご意見に対する回答）

No.	年代	ご意見	ご意見に対する回答	計画修正の有無
9	50代	特に高齢者を取り残さないようにしてほしい。 コロナ禍で変化した社会状況を生かし、デジタルによる地方での新産業創出、テレワークによる首都圏からの移住や関係人口の拡大、焼津のアイデンティティー発信による外部も巻き込んだ活性化に努めてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化による利便性向上と併せて、デジタル化へ移行できない方への非デジタルによる丁寧な支援も進めていくこととしております。また、P40に記載の「地域のデジタルステーション（仮称）」の整備を進めていくことにより、電子申請などの手続きや、スマホなどのデジタル機器の操作などを、地域で教え合い、支え合う仕組みを構築し、誰も取り残さない視点で取り組みを進めてまいります。</li> <li>・P36に記載のリーディングプロジェクトにより、イノベーション等による新たな産業創出など、各分野での地域課題の解決を図ることができ、将来にわたる持続可能な地域社会の構築につながるものと考えております。また、このプロジェクトでは市内事業所だけでなく、リモートワーク等での域外事業者とのつながりや、プロジェクトを通じて焼津に関係のある市外の様々な方と連携した仕組みを構築し、地域の活性化を進めてまいりたいと考えております。</li> </ul>	無